

# 市街地工事おける問題とその対策について

(社) 静岡県土木施工管理技士会

岡村建設工業株式会社

工務部 見崎 俊夫

## 1. 工事概要

工事名 平成23年度[第23-D8756-01号](主)焼津森線 地域自主戦略交付金

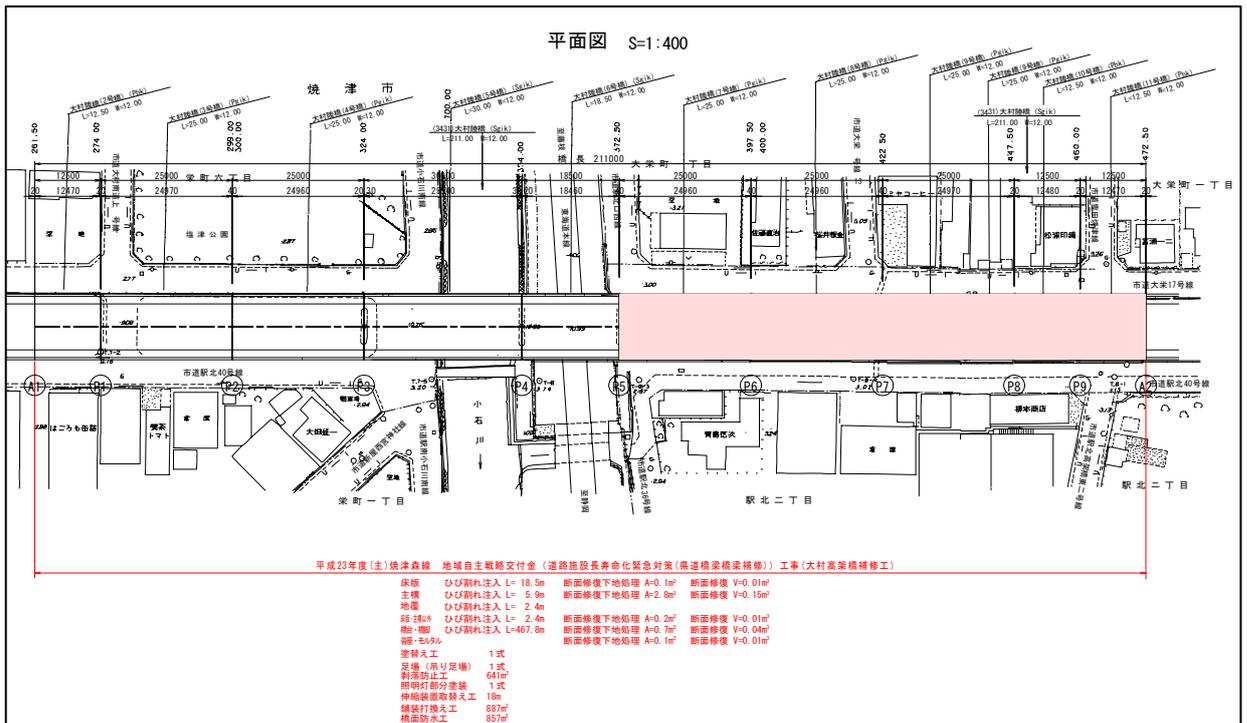
(道路施設長寿命化緊急対策(県道橋梁補修))工事 (大村高架橋補修工)

施工箇所 焼津市 駅北二丁目 地内

路線名 主要地方道焼津森線

発注者 静岡県島田土木事務所

工事内容	床版補修工	一式	剥落防止工	641m <sup>2</sup>
	主桁補修工	一式	舗装工	880m <sup>2</sup>
	橋台・橋脚補修工	一式	橋面防水工	867m <sup>2</sup>
			伸縮継手工	18m



## 2. はじめに

本工事箇所がある(主)焼津森線は、新東名高速道路藤枝岡部ICと東名高速道路焼津ICへ直結する道路として、また、焼津市街地を貫く幹線道路として自動車交通量が多い道路です。

本工事は、焼津市駅北と栄町を結ぶ、大村高架橋の橋梁補修工事を行いました。

## 3. 現場における問題とその対策

### (1) 騒音対策

#### ① 工事施工時間帯の変更

伸縮継手工、舗装工施工時におけるブレーカーによるはつり作業には、少なからず騒音が伴います。施工現場は焼津市街地であり、付近にはマンションや住宅が密接していますが、当初設計では施工時間が22:00から翌朝6:00のようになっていました。夜間施工では、自動車交通量が昼間より減少し住宅周辺が静かになることから、騒音が目立ってしまいます。

一方、昼間の8:30から16:30までの通常の施工規制時間帯では、自動車交通量が多いことから、工事渋滞に伴う苦情や資材運搬車両の現場到着の遅延、交通解放時間が遅くなることによるアスファルト合材の品質の低下が考えられました。

#### ② 上記①についての協議結果

夜間施工時におけるはつり作業から発生する騒音による苦情対策として、施工を昼間の時間帯に変更することを提案しました。施工時間帯を変更するためには、昼間施工になった場合に懸念される、交通渋滞を解消しなければなりません。そこで、まず最初に発注者と「平成22年度道路交通センサス一般交通量調査、時間帯別交通量表」から、8時台の交通量と17時台の交通量の比較を行いました。

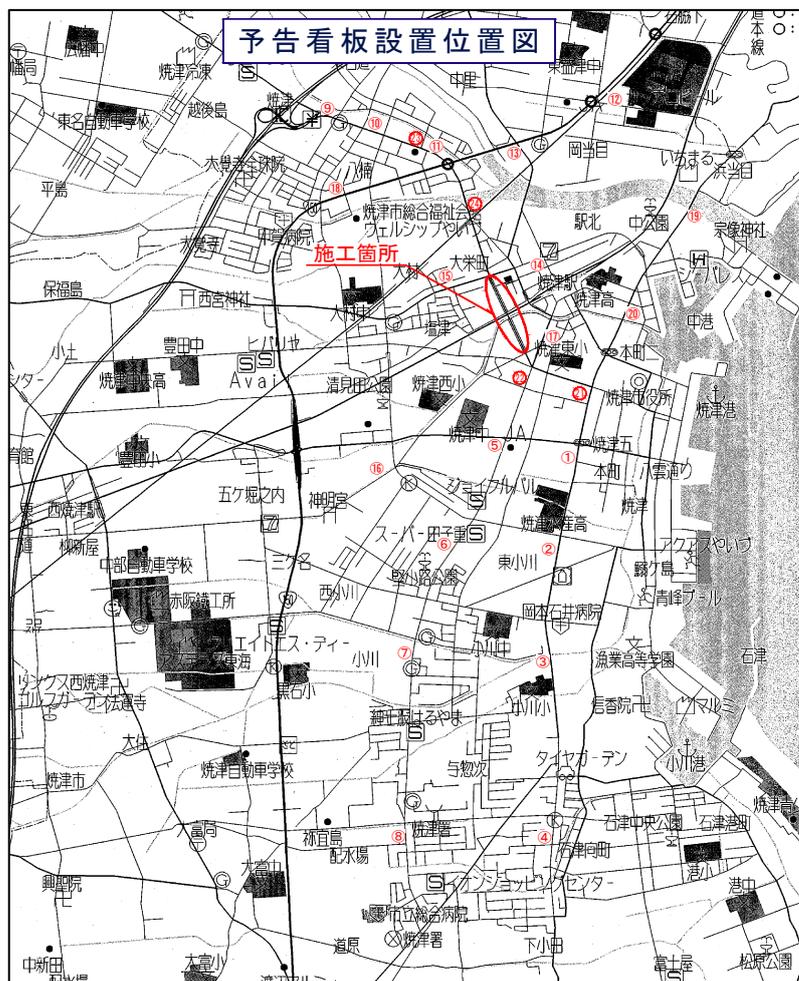
その結果、17時台の交通量が8時台の交通量より時間100台程度少ないことが判明しました。この比較結果により、昼間の施工開始時間を30分遅らせて9:00から17:00までの施工とした施工サイクル予定表を作成し、発注者及び焼津警察署の規制課と協議を行いました。

この協議により、昼間への施工時間帯変更の承諾をいただき、また、工事開始一週間前までに「工事予告 迂回案内看板」を市内20箇所に、「この先渋滞中」の看板を規制区画前後500mから200m手前に設置するよう指導を受けました。

焼津森線大村高架橋片側交互通行規制施工サイクルタイム

時間	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
工事内容		規制開始									規制解除
<b>伸縮継手撤去(2日間)</b>											
① 伸縮継手撤去			●	●	●						
② コンクリート不陸調整						●	●	●	●		
③ 仮舗装工復旧									●	●	
<b>舗装打替え工(基層工迄)(2日間)</b>											
① 舗装取り壊し(路面切削)			●	●							
② 橋面防水工					●	●	●				
③ 基層工								●	●	●	
<b>埋設型伸縮継手工(2日間)</b>											
① 仮復旧舗装取り壊し			●	●							
② 伸縮継手設置					●	●	●	●			
③ 基層工									●	●	
<b>舗装工(表層工)</b>											
表層工			●	●	●	●	●	●	●		

工事予告迂回案内看板設置箇所



## 工事予告 迂回案内看板



## この先渋滞中看板



## (2) 落下物対策

高所作業車のバスケットは、一般的に作業員の安全確保のための手摺が設置されていますが、かなり間隔が開いています。本工事の施工箇所である大村高架橋下は、駅北高架橋東2号線他7路線の市道が通っており、地域住民や車両等が日常的に通行していますので、高所作業車から資材等が落下し、通行者に危険が及ぶことのないように対策を講じる必要がありました。

そこで落下物対策として、高所作業車のバスケットをブルーシートで隙間なく囲い、資材等が落下しないように養生しました。

## (3) 防塵対策

高架橋下は、地域住民が利用している駐車場があります。駐車している車両に工事で発生した埃等が落下して汚すことのないように、ボディカバーシートで養生しました。

## 落下物対策



## 防塵対策



## 5. まとめ

施工時間帯を夜間から昼間に変更したことで、地域住民の就寝中の施工は回避できました。その結果、工事騒音による苦情はありませんでした。また、施工期間中目立った渋滞もなく、設置した「工事予告 迂回案内看板」、「この先渋滞中看板」で事前に通行車両へ周知できたと感じました。

市街地での工事は、ほんの僅かなことでも地域住民に対し思わぬ影響を及ぼすことがありますので、その立場になって物事を考える重要性を再認識しました。

今後も、問題の回避をスムーズに行えるよう、施工前の準備を綿密に行いたいと思います。